



山形市議会議員

令和3年1月1日発行

No. 45

おりはら政信通信

発行責任者／折原政信 電話番号／023-643-5094

〒990-2474 山形市大字沼木863-2 masanobu.orihara1124@gmail.com

ホームページ <http://masa-ori.com/>

この「おりはら通信」は、政務活動費を使用して作成しております。



年頭のごあいさつ！

希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るいました。日本も例外ではなく、4月7日には安倍首相は、緊急事態宣言を発出しました。

山形市では4月9日に初めて感染者が確認され12月8日には山形市内で初のクラスターとなる事例が確認されました。医療関係者や感染症対策等に昼夜をたがわず、大変に厳しい中をご奮闘して頂いています皆様方に対して心から敬意を表しますとともに感謝と御礼を申し上げます。公明党山形市議団としても佐藤市長に緊急提言書をお渡しし、市民の皆さまの安全・安心が確保されるよう要望させて頂きました。そうした中、5月の東北絆祭を始めとして花笠まつりや日本一の芋煮会フェスティバルなど各種イベント行事が中止となりました。当然ながら、7月から8月に掛けて行われるはずだった東京オリンピック・パラリンピックも一年の延期となりました。今、私たちが成すべきことは、冷静に行動するとともに、新しい生活様式を守ること、不要不急な外出や県外との往来を控えて頂くことです。

山形市議会では、12月定例会で「誹謗中傷等をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議」を可決しました。私も、新型コロナウイルス感染症の諸課題に真摯に取り組むとともに、市民の皆様に寄添い、小さな声を聞く力とネットワーク政党の力を生かして、頑張って参ります。結びに、今年一年が皆様方にとって実り多い年となるとともに、健康で健やかで年でありますよう心よりお祈り申し上げ、私の年頭に当たっての挨拶とさせていただきます。

令和3年 元旦 山形市議会議員 折原政信



令和3年度予算編成にかかる政策提言！

12月15日(火)午前10時から、令和3年度予算編成にかかる政策提言を佐藤孝弘山形市長に公明党山形市議団としてお渡しさせて頂きました。

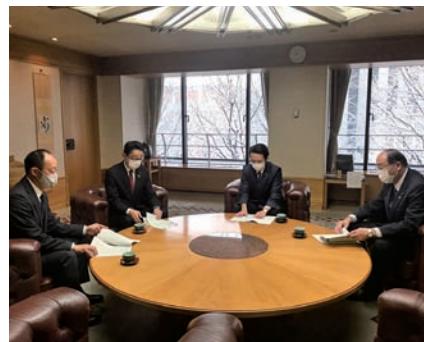
政策提言は、特別枠として新型コロナウイルス感染症の対応と新生活様式についての8件と、大きな柱の5項目からなります。5項目は**1. 世界に誇る「健康医療先進都市」実現**のために8件、**2. 県都に相応しいトップクラスの子育て環境整備**のために12件、**3. 活力ある産業のまちづくり**のために8件、**4. 市民協働のまちづくり**のために4件、**5. 安全・安心のまちづくり推進**のために6件から成り、新規17件、継続拡充11件、継続10件となっています。

私から、市議団を代表して、新しく追加した細目について説明をさせて頂くとともに、**継続して提案しているものについて早急な対応をお願い**しました。佐藤市長からは、「様々な角度からご提言をいただきたい。検討の上、施策に取り入れていきたい。」とのお話を頂きました。

これからも**市民の皆さまのお声を市政に届け、安全・安心**で、さらに**住みよい都市**となるよう、今後とも全力で取り組んで参ります。



提言書を佐藤市長に手渡す



提言書の内容を説明する折原

9月定例議会 通算18回目的一般質問！



インターネットで一般質問の様子（動画）をご覧いただけます

生放送配信のほか、過去の録画映像もご利用ください

<http://www.yamagata-city.stream.jfit.co.jp/>



9月定例議会で通算18回目の一般質問を行う折原

1 ゼロカーボンシティ宣言について

質問 2050年における脱炭素社会の実現を視野に低炭素化に向けた具体的な取組を展開するとともに、ゼロカーボンシティ宣言を行ってはどうか。

答弁 今後、国が示す地球温暖化対策の方向性などを中止しながら、検討していく。※10月19日、市長定例記者会見の席上、佐藤市長は「山形市は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す。」と表明しました。

2 重粒子線治療利子補給制度について

質問 令和2年度予算に新規事業として重粒子線がん治療費助成事業として130万円が盛り込まれた。助成制度の周知はどの様に行うのか。

答弁 周知については、重粒子線がん治療の開始に合わせて、情報が広く市民に行き届くよう、ホームページ、ソーシャルメディアでの発信のほか、医療機関等に広報紙を設置するなど、様々な手法や媒体を活用しながら発信していく。

質問 県に対して重粒子線がんの治療費助成制度創設を要請すべきと思うがどうか。

答弁 本市独自の助成を実施することとしているが、市町村の助成制度の有無にかかわらず助成が受けられるよう、県に対して要望していく。



3 治療中断期間が長いほど重症化しやすいリスクが高まる糖尿病について

質問 KDB(国保データベース)システムの疾病管理一覧と言うメニューで直近5年間までの糖尿病レセプトと投薬状況の治療中断者を抽出し、受診勧奨をすべきと思うがどうか。

答弁 山形市では5年分のレセプトデータから糖尿病治療薬があった被保険者を治療中断者として年4回抽出し、1回あたり170人分のリストを受けている。今年度からは従来のリストに加え、受診の必要度が高い中断者のリストが提供されることになった。保健師や看護師が受診再開に向けた指導を行っているが、さらに受診勧奨の強化に努めていく。

4 健康ポイント事業SUKSKについて

質問 歩きポイントは4000歩で40ポイント、8000歩で100ポイントが付与される仕組みであるが、2000歩で20ポイント、3000歩で30ポイントとしてはどうか。

答弁 1日あたりの平均歩数は5705歩となっている。出来るだけポイントを獲得できるように来年1月には3000歩からポイントが付与されるよう基準の見直しを行う。参加者がポイントを貯める達成感がより得られ、楽しく健康づくりに取組むことができる仕組みとなるよう勤めていく。



5 西公園について

(1)西公園を芸術の杜に

質問 公園内に芸工大学生の優秀作品や、日本国中の芸術家の彫刻物や創造性豊かな作品を展示し、緑と芸術品を鑑賞出来る「芸術の杜」として再生してはどうか。

答弁 提案の芸術の杜というコンセプトは、これまでとかなり異なったものであり、西公園に限らず市全体の文化芸術政策の中で考えていく。

(2)3オン3のバスケットコートの増設について

質問 西公園の3オン3のバスケットコートを各世代で分けて楽しむことも出来るよう、もう一面整備してはどうか。

答弁 3オン3は、東京オリンピックの正式種目となり、競技人口も増え人気の高いスポーツと認識している。同規模のコートの増設に向けた設計委託を行っており、3年度での設置を計画している。

6 人工内耳への助成等について

質問 本市では人工内耳装用者はどのくらいいるのか。聴覚障がい者等についてアンケート調査を実施してもらいたい。また、人工内耳体外機、スピーチプロセッサーの買い替えや電池代への助成制度の創設を実施すべきと思うがどうか。

答弁 聴覚障がい者の現状を把握する手段としてアンケート実施について検討する。また、市独自の助成制度も視野に入れながら、国の動向や他市の状況を調査検討していく。

7 南沼原小学校跡地に「福祉の里」を公民連携で

質問 南沼原小学校跡地に、身寄りのない障がい者が安心して暮らすための施設や、認知症により日本語を忘れて

しまった外国人などが暮らすことの出来る施設など、総合的な福祉施設を公民連携で建設してはどうか。

答弁

様々な角度から跡地の利活用を検討している。身寄りのない障がい者が安心して暮らせる施設は、山形市社会福祉事業団で整備を進めており、地域生活支援拠点などの整備の中で、必要性を調査研究していく。また、外国人のための施設についても、そのニーズなどについて調査研究していく。

8 副市長二人制について

質問

副市長二人制についてはこの度で3回目の質問となる。中核市となり更なる発展のために中央省庁より招聘すべきと思うがどうか。また、副市長定数変更の条例改正をしておくべきと思うがどうか。

答弁

中央省庁からの人材招聘も有力な選択肢の一つとして考慮していく。また、定数の部分で準備しておくということも含めて検討していく。※12月定例議会で副市長の定数を1人から2人にする条例改正が上程され、全会一致で可決されました。

9 豪雨災害の対策等について

質問

7月27日からの豪雨により浸水被害や農作物などに、様々なところで甚大な被害が発生した。須川に通じる排水樋門と樋管は何力所あり、その中で排水機場や排水ポンプ車が必要な箇所は何力所あるのか。必要な箇所には順次、排水ポンプ車を導入してはどうか。

答弁

樋門などは全部で40力所あり、排水機場などが必要な箇所は、志戸田地区周辺の4力所程度と想定される。内水被害を軽減する対策として、国へ排水ポンプ車の配備要請を早期に行うとともに、山形市においても、計画的に排水ポンプ車の導入を検討していく。



10 自転車利用者等の自転車損害賠償責任保険への加入について

質問

「山形県自転車の安全で適正な利用の推進に関する条例」に基づいて、令和2年7月1日から自転車損害賠償責任保険への加入が義務付けられた。市として、自転車利用者や自転車通学者に対して、この条例と自転車損害賠償責任保険への加入について、どの様に啓発し、加入推進していくのか。

答弁

広報やまがたやHPへの掲載、山形駅東口駐輪所等において広報啓発活動を行っている。また、高齢者団体や小学校における自転車教室でも説明している。今後も関係団体と連携し、啓発・広報活動を継続し、加入促進に努めていく。

南沼原地区市政懇談会！



佐藤孝弘市長を迎えての南沼原地区市政懇談会に、南沼地区町内会連合会の顧問として出席させて頂きました。佐藤市長からは「山形市の新型コロナウイルス対応と今後のまちづくりについて」と題して、約30分にわたってお話を頂きました。今後のまちづくりについてでは、連携中枢都市圏構想の推進について、健康寿命延伸のための新たな検査・折原議員が一生懸命に推進してきた胃がん検診（内視鏡検査）を令和2年から実施したと紹介して頂きました。その他には、重粒子線がん治療費助成事業、グランドゴルフの環境整備、教育施設の整備、市南部への児童遊戯施設整備事業、公共交通網の充実、高速道路ネットワーク等について、国道112号山形中山道の南進についてなど、市民皆様から聴いてもらったらワクワクするような内容でした。

胃内視鏡検査による胃がん検診の実施！



長年、私折原が一般質問や公明党山形市議団として市当局に訴えていた、胃内視鏡検査による胃がん検診が令和2年4月から始まりました。胃内視鏡検査による胃がん検診とは、鼻または口から内視鏡（先端にカメラが付いた管）を挿入し、胃の内部を調べる検査です。対象者は、50歳以上で今年度が偶数歳になる方（令和3年3月31日時点の年齢になります）。ただし、次の方は受診できません。①胃の疾患で治療中または経過観察中の方、②胃全摘術後の方、③妊娠中の方、④その他、医師より検査困難と判断された方。

実施期間：令和2年4月（開始時期は4月～5月）から令和3年2月末日まで。受け方：山形市の胃内視鏡検査による胃がん検診を実施している医療機関で受けられます。その時は「市の内視鏡検査による胃がん検診を受けたい」と伝え、予約してください。集団検診での胃内視鏡検査はありません。料金：自己負担額は3,700円となります。65歳以上または50歳～64歳で市民税非課税世帯・生活保護世帯の方は無料となります。

なお、詳しい健診等については、各家庭に配付されている山形市健診べんり帳をご確認ください。健康診査に関するお問い合わせ先は

**山形市健康医療部健康増進課成人保健係
☎616-7272まで**

妊婦歯科健康診査の実施！



実現しました！

「仙台市では妊婦歯科検診を実施しているのに山形市ではこの制度が無いんだね」と言う姪っ子の率直な意見を松田議員に伝え、公明党山形市議団として一般質問に盛り込んでもらいました。その結果、妊婦歯科健康診査が令和2年10月から実施されました。

事業目的は、妊娠期に歯科健康診査及び歯科保健指導を受け、妊婦自らの生活習慣全体を見直し、セルフケア能力向上につながることにより、生まれてくる子どもはもとより家族の生涯にわたる口腔の健康の維持・増進につなげるもので、費用については全額市が補助する制度です。これからも、市民の皆さまの声を市政に届けカタチにして参ります。



山形を元気に!

議員活動とその足跡

詳細はホームページの「おりはらブログ」でご覧下さい

Part
36

7月5日



べに花の里 高瀬地区

7月17日



山形広域クリーンセンターを視察

7月28日



記録的な豪雨の中で避難場所を確認

9月29日



山形市立南沼原小学校
校舎改築等安全祈願祭で挨拶する佐藤市長

9月30日



山形売上増進支援センター（Y-biz）
富松センター長と共に

10月1日



山大医学部東日本重粒子センターを視察

10月6日



白鷹町の複合施設を視察

10月6日（10月7日のブログに掲載）



高畠町立図書館を視察

10月6日（10月8日のブログに掲載）



高畠町の屋内遊戯場「もっくる」を視察

10月28日



エネルギー回収施設（立谷川）を視察

11月29日



山形市消防団21分団1部2班 ポンプ車庫お披露目式

12月17日



グループホームこもれびを視察

くらしの
110番

おりはらをどんどん 働かせて下さい！

TEL&FAX 023-643-5094

お気軽にご相談ください

折原政信

検索



おりはらブログは毎日更新!!

@OriharaMasanobu

Facebook

<http://masa-ori.com/>

